

ヤマハDM1000 Version2

バージョンアップマニュアル

このマニュアルでは、Version2(V2.00以降)のシステムソフトウェアが既にインストール済みのDM1000を、最新のシステムソフトウェアにバージョンアップする方法を説明します。

■必ずお読みください

- ・ バージョンアップ作業は、お客様ご自身の責任において行なっていただきます。
- ・ バージョンアップを実行する前に、大切なデータは必ずバックアップしておいてください。
- ・ バージョンアップ作業中(データのロード中)にDM1000の電源を切ったり、ケーブルを抜いたり、このマニュアルに記載された手順と異なった操作をしたりすると、DM1000 が故障する場合がありますのでご注意ください。
- ・ このソフトウェアは、USB 接続したコンピューターからDM1000 をバージョンアップするためのプログラムです。また、ヤマハUSB- MIDI ドライバ以外のドライバでは実行できません。
- ・ バージョンアップ作業中(データのロード中)にケーブル不良などの原因でバージョンアップに失敗した場合、DM1000 の電源を入れ直すと通常モードではなくダウンロードモードで起動します。この場合は、ケーブルを交換してもう一度バージョンアップを実行してみてください。
- ・ バージョンアップ作業に失敗し、もう一度バージョンアップ作業を実行してもDM1000 が正しく動作しない場合は、ヤマハ電気音響製品サービス拠点にお問い合わせください。
- ・ このソフトウェアおよびマニュアルの著作権は、すべてヤマハ株式会社が所有します。
- ・ このソフトウェアおよびマニュアルの一部、または全部を無断で複製、改変することはできません。
- ・ このマニュアルに掲載されている画面は、すべて操作説明のためのもので、実際の画面と異なる場合がありますので、ご了承ください。
- ・ Windows は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ Macintosh 、Apple およびPower Macintosh は、米国Apple Computer,Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ OMS はOpcode Systems,Inc.の商標です。
- ・ その他掲載されている会社名および商品名は、各社の商標および登録商標です。

■動作環境

□ Windows

OS: Windows 98SE, Me, 2000, XP Home Edition, XP Professional

コンピューター: 433MHz 以上のIntel Pentium またはCeleron ファミリープロセッサ搭載のPC(USB 端子装備)

メモリー: 128 MB 以上

ハードディスク: 10 MB 以上の空き容量

ディスプレイ:1024 × 768 ピクセル、256 色以上 (High Color16 ビット以上推奨)

□ Macintosh

OS: Mac OS 9.0 ~9.2.2 、Mac OS X 10.2 以上

コンピューター: Power Macintosh G3/233MHz 以上(USB 端子装備)

メモリー: 16MB 以上の空きメモリー(仮想メモリーはオフにしてください)

ハードディスク: 10 MB 以上の空き容量

ディスプレイ:1024 × 768 ピクセル、256 色以上(32,000 色以上推奨)

OMS 2.3.3 以上(Mac OS 9 の場合)

■このフォルダの内容

□ Windows

DMUpgrade.exe システムソフトウェアのインストーラー

Dm1k.pgm DM1000のシステムソフトウェア

その他のファイル インストーラーの動作に必要ですので、フォルダごと保存してください。

□ Macintosh

DM1K_patchJ システムソフトウェアのインストーラー

Dm1k.pgm DM1000のシステムソフトウェア

■バージョンアップの方法

1. コンピューターを起動して、以下の準備が完了していることを確認します。

- ・ コンピューターにヤマハUSB- MIDI Driverをインストール
- ・ コンピューターとコンソールをUSBケーブルで接続
- ・ コンソールのユーザーメモリーにあるデータをバックアップ

NOTE: バージョンアッププログラムを実行する前に、必ずすべてのWindowsプログラムを終了しておいてください。また、バージョンアッププログラムを実行中は、別のWindowsプログラムを実行したり、ウィンドウを切り替えたりしないでください。

NOTE: 省電力モードなどでコンピューターが待機状態になると、DM1000へのデータ転送が止まる場合があります。待機状態に移行しないように設定しておいてください。

NOTE: USB-MIDIドライバのスルー設定がオフになっていることをご確認ください。

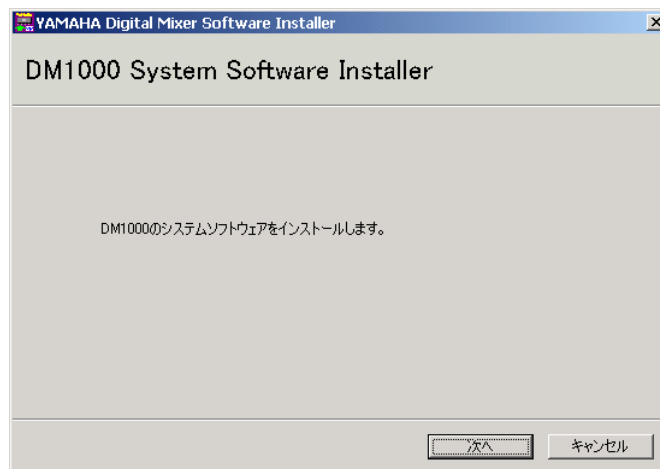
NOTE: DM1000以外のUSB機器(USBマウスやUSBキーボードは除く)は、接続しないでください。また、DM1000はUSBハブを経由せず、直接コンピューターのUSB端子に接続してください。

2. コンソールの[CLEAR]キーを押しながら、コンソール本体の電源を入れます。

ディスプレイに「FLASH UPDATE」と表示されるまで、[CLEAR]キーを押し続けてください。

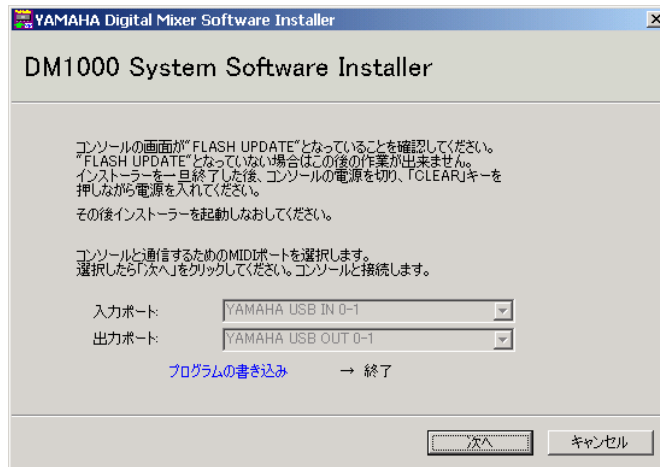
3. DMUpgrade.exe(Mac OSはDM1K_patchJ)をダブルクリックします。

インストーラーの画面が表示されます。



4. **[次へ]**をクリックします。

入出力ポートの設定画面が表示されます。



5. **入力ポートに「YAMAHA USB IN 0-1」、出力ポートに「YAMAHA USB OUT 0-1」が選択されていることを確認し [次へ]をクリックします。**

進行状況を示すダイアログが表示されて、システムソフトウェアをインストールします。

インストールには数分かかります。MacOS 9をお使いの場合は、入力ポートに「DM1000-1」、出力ポートに「DM1000-1」を選択します。ただし、OMSのセットアップファイルによって、ポート名は異なります。

6. **インストールが完了すると、以下の画面が表示され、DM1000本体のプログラムが起動します。**



■エラーメッセージリスト

[コンソールへの接続エラー]

- ・ **コンソールに接続できません。**

→コンソールの電源が入っていて、コンソールとUSBケーブルで接続されていることを確認してください。コンソールが通常モードになっている場合は、[CLEAR]キーを押しながら電源を入れてFLASH UPDATEモードにしてください。FLASH UPDATEがV2.0にバージョンアップされていることを確認してください。また、YAMAHA USB-MIDI Driverがインストールされているか確認してください。MacOS 9の場合は、OMSの設定をご確認ください。上記に問題がなければ、コンソールの電源を入れなおしたり、インストーラーを起動しなおしたりしてみてください。

- ・ **インストール対象となっているプログラムの動作に必要なアクセスキーがないため、インストールは出来ません。**

→DM1000本体にアクセスキーが書き込まれていないため、システムソフトウェアのマイナーアップデートはできません。DM1000V2Kに付属のCD-ROM「Firmware」とPRODUCT IDを使用して、一度Version2のインストールを行なってください。

- ・ **このソフトウェアはコンソールが対応していません。**

→インストーラーと本体が一致しないとき、たとえばDM1000に対して02R96のインストーラーを使用したときなどに示されます。

- ・ **このバージョンのソフトウェアは既にインストールされているので、インストールする必要はありません。**

→インストールを中止する場合は[インストールしない]、上書きでインストールする場合は[上書きインストールを行なう]をクリックしてください。特に問題がない場合は、インストールの中止をおすすめします。

[コンソール側のエラーメッセージ]

- ・ ***"Protocol Error "***

- ・ ***"Vendor Error "***

→FLASH UPDATEがV2.0になっていない場合に表示されることがあります。DM1000V2Kに付属のCD-ROM「Firmware」とPRODUCT IDを使用して、一度Version2のインストールを行なってください。

- ・ ***"Please grant authority "***

→DM1000本体にアクセスキーが書き込まれていないため、システムソフトウェアのマイナーアップデートはできません。DM1000V2Kに付属のCD-ROM「Firmware」とPRODUCT IDを使用して、一度Version2のインストールを行なってください。